

収束とはほど遠い福島原発事故

入間川中橋の歩道の幅が1.5 mから3 mへ

日本共産党入間市議団は、震災ボランティアに参加してきました。今年も福島県南相馬市の仮設住宅へ米や水などの支援物資を届け、聞き取りを行いました。

現地へ行ってみると収束とはほど遠いことが身をもって実感させられ、「収束宣言」への怒りを感じました。再稼働など論外です。

2.5.0キロ圏に原発が5機

私は、主要生産物である狭山茶への被害、土壌汚染などを受けた入間市の市長として原発事故の真の収束を妨げている「収束宣言」の撤回を国に求めるべきと質しました。市長は「福島の実状は収束とは言えないと認識している」と答えましたが、「収束宣言撤回」を国に求めるとは言いませんでした。

5月21日に出された福井地裁の判決は「極めて多くの人々の生命と電気代の高い低い次元の違う話で天秤にかけることは許されない」とし、大飯原発の再稼働差し止めを命じました。

私はこの観点から、原発をベースロード電源とする政府のエネル

ギー基本計画についての認識を質すと市長は「経済性を考えれば再稼働はやむをえない」と従来通りの答弁。

私は、250キロ圏内に5つの原発がある入間市の市長として認識を改めることを求めました。

安心して働けるように学童保育の時間延長・年齢拡大を

夜7時までの時間延長、6年生までの年齢拡大は、制度が変わるもとで国、県が市に実施を求めています。

福祉部長に補助金の活用も積極的に行い実施計画を立てるべきだと質すと「市の財政負担がどの程度になるか検討が必要」と消極的な答えに終わりました。

中橋の歩道の幅が2倍に

段差が高く幅が狭い中橋の歩道が3メートルになり、車道と歩道間に柵が設置されます。26年度着工27年度完成の予定です。

小出わたるの連絡先

どんなことでもお気軽にどうぞ

住所 〒358-0053 入間市仏子1170-4
電話 04(2932)7884
携帯 090(6542)3883

日本共産党小出わたる

市議会つうしん

●近況・活動・第2回定例議会の報告

NO 20

- ◇集团的自衛権行使容認断固反対
- ◇原発ゼロを入間市から
- ◇学童保育の時間延長・年齢拡大

2014年7月



若者に血を流させる国づくりストップ

集团的自衛権行使容認反対の署名にご協力を

暑さもいよいよ本番でしょうか。お元気でお過ごしですか。私は、にわか雨でずぶ濡れになりながら自転車移動でダイエットに励んでいます。ゴールは未だ霞んでいます。

アフガニスタンやイラクでは自衛隊が殺し殺される事態に

自衛隊は世界有数の軍隊でありながら、一人の外国人も殺さず、一人の戦死者も出してきませんでした。それは「海外で武力行使をしない」という憲法9条の歯止めがあったからです。

イラクやアフガンに派兵されてもこの歯止めが「戦闘地域で活動しない」「武力行使はしない」の制限となってきました。

共産党の志位和夫委員長が国会でこの歯止めを「残すのか、残さないか」と何度聞いても安倍首相は「残す」と明言せず「新たな方向を検討する」と明言しました。これは、イラクやアフガンのような事態で自衛隊が殺し殺される戦闘に加わることを明らかにしたものではないでしょうか。みなさん是非、署名にご協力ください。

青年CAFÉ

災害ボランティア報告だよ!

- ★日時・8月10日(日)12時～
- ★参加費・500円(昼食代)
- ★場所・共産党事務所(仏子ヤオコー前)

貸付金返済と中心市街地再活性化

6月議会は、全議案、請願・意見書を可決、(株)入間セントラル民事再生・調査特別委員会を設置しました。

市民・市議会に報告なし

映画館の入る「アイポット」6階建てビルは、人口20万人の中心市街地の「商業核を形成する施設」の一つとして豊岡第一南地区市街地再開発事業で建設されました。平成12年末、近隣にない9スクリーン・2039席でオープン。しかし、19年には40キロ圏内に映画館が2.5倍となり、売上げが30%強落ち込みました。

入間セントラルは、3億円を借りている入間市に対し、返済繰り延べと26年度に資金が枯渇の見通しを伝えました。しかし、入間市は5月末16億円の負債で民事再生法の申請がされるまで、市議会に報告しませんでした。

過大な中心市街地商業核

入間市の人口は15万人から減少の段階に入り、しかも大店法の改悪で大型店が出店、中心市街地から離れたところへ買い物客が移り、人口20万人の中心市街地商業核は今や幻となっています。

再生への対応と展望

裁判所から「再生案」が示させると、入間市の対応と市議会の判断が求められます。人口減少・経済の停滞、郊外への大型店出店で展望が持てない状況ですが、中心市街地の衰退傾向にどう歯止めをかけるのが重要問題です。3億円貸付の判断と返済見通し等を調査する特別委員会が、8月中旬まで開かれます。傍聴においで下さい。



「東町留保地」が災害拠点施設へ

防衛省が入間基地に「災害対策拠点施設」を整備する方向で、基地に隣接する東町側留保地(約28ヘクタール)を候補地として、財務省と整備計画や用地取得について協議している旨の報告が入間市にありました。「自衛隊病院」の整備も計画されています。市では同留保地の利用については、緑地帯の緩衝ゾーンと、総合運動公園や病院などの医療ゾーンにする計画ですが、この計画との矛盾が生じています。入間基地の強化と環境悪化が懸念されます。

「手話言語法」請願可決

「入間市視聴覚障害者の会」から「手話言語法制定を国に求める意見書」に関する請願が提出され、全会一致で採択。これを受けた意見書も採択されました。請願は「手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、聞こえない子どもが手話を身につけ、手話を普及、研究することのできる環境整備をすること」等を国に求めるものです。手話はろう学校では使用が禁止されてきたこともありましたが。共産党も、積極的に署名に取り組みました。

請願署名への押印が廃止

今議会では、これまで必要だった請願署名への押印廃止が全会一致で可決されました。入間市では近隣市のなかで唯一押印が必要とされてきました。請願署名に押印が必要とされるため市民の意見表明への障害の一つとなっていました。これに対し請願署名への押印廃止を求める陳情がたびたび提出されてきました。また、市議会が議会改革に取り組むなかで共産党入間市議団は、国会・県議会と同様に押印を廃止することを一貫して主張してきました。

集団的自衛権行使に反対

今議会に共産党は「集団的自衛権行使容認に反対する決議」を提案。また同趣旨の陳情も市民から提出されました。しかし、自民クラブの反対で提出には至りませんでした。全国では158を超える自治体が「反対」「慎重審議」を求める意見書を提出しています。

集団的自衛権行使は、自衛隊が海外で戦闘活動ができるためのもので、「戦争への道」に他なりません。入間市には入間基地の隊員も多く暮らしています。日本国民・入間市民が犠牲になる集団的自衛権行使は絶対に認められません。反対の声を上げましょう。

共産党議員の一般質問

小出わたる議員

原発再稼働反対、学童保育年齢拡大
石田よしお議員

法人市民税の減額、内部留保の活用
安道よし子議員

教育の独立守り、居場所・サロンを
吉沢かつら議員

生保・福祉手当、子どもの貧困対策

日本共産党市議会報告

2014年7月 発行/日本共産党入間市議団
連絡先/電話2932-5688 Fax2932-2840

石田よしお 2964-4048 070(5086)2075
安道よし子 2962-8082 090(4811)0553
吉沢かつら 2964-0208 090(3514)3077
小出わたる 2932-7884 090(6542)3883